

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（施設のバリアフリー）

NO	課	推進計画ページ・区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額(円)	実施状況	事業費(円)
1	子ども家庭部	39施設	乳幼児を持つ親が安心して外出できる環境の整備事業（赤ちゃん・フラット事業）	保育所、児童館、図書館等不特定多数の者が利用する施設等において、乳幼児及びオムツ替えのための施設設備（「赤ちゃん・ふらっと」）の設置を促進するとともに、市民に「赤ちゃん・ふらっと」の所在を広く周知することにより、乳幼児を持つ親が安心して外出を楽しめる環境の整備を推進する。	公共施設の改修等に合わせ設置を促進する。	—	保健センターに設置している「赤ちゃん・ふらっと」の所在を東京都のHP（とうきょう福祉ナビゲーション）を通じ、周知した。また、施設については改修等の予定がなかった。	—
2	道路公園課	41施設	公園・緑地整備計画策定事業	公園・緑地74箇所についてバリアフリー新法施行によるユニバーサルデザイン化等、バリアフリーの視点にたった今後10年間の整備計画を策定する。	公園のバリアフリー化を推進するための整備計画策定に向け、既設公園を調査する。	—	整備計画策定に向け、公園の既存施設を調査した。	—
3	道路公園課	29施設	市道幹線Ⅱ-19号線外1路線改良事業	歩道のバリアフリー化 全長1,910m、セミフラット型	工事（3工区） 工事（4工区一部）	—	延長：417m 幅員：16.0m 排水施設工、街築工、舗装工、交通安全施設工 一式 土地測量委託料、設計委託料、監理委託料、工事委託料	165,578,997
4	教育総務課	38施設	小中学校便所改良事業	誰でもトイレの設置、便所段差の解消	第三中学校便所改良（工事）	100,926,000	第三中学校便所改良（工事）	88,053,480
5	スポーツ推進課	39施設	体育施設整備事業	誰もが支障なく利用することができる施設の整備を進める。	継続して検討する。	—	整備箇所なし。	—

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（施設のバリアフリー）

NO	課	推進計画ページ・区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額(円)	実施状況	事業費(円)
6	契約管財課	37	もくせい会館建設事業	バリアフリー化及び各種設備、外壁、屋上防水等の老朽化により建設事業として解体・新築を行う。	実施設計	27,694,000	平成27年度においては、実施設計及び工事入札を行い、工事着手し、解体を開始した。	実施設計 19,440,000 もくせい会館建設事業費 (設計費除く) 200,796,277
7	まちづくり計画課	39 施設	第二市営住宅A棟エレベーター設置事業	第二市営住宅A棟にエレベーターを設置し、バリアフリー化を図る。	第二市営住宅A棟に、エレベーター設置の実施設計を行う。	2,279,000	第二市営住宅A棟に、エレベーターを設置するために必要となる実施設計を行った。	実施設計 1,886,760 第二市営住宅エレベーター設置事業費 (設計費除く) 23,762

※事業費、予算額等に人件費、事務費は含まず。

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（心のバリアフリー）

NO	課	推進計画 ページ・ 区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額 (円)	実施状況	事業費 (円)
8	全課	52 心	バリアフリー意識の徹底	職員個々のバリアフリー意識の徹底を図り、高齢者、障害者を問うことなく全ての市民のために最善のサービスを提供する。	継続して実施する。	—	選挙のお知らせを発行し、入院中の人、重度の障害がある人等が投票できる制度のPRとして不在者投票の案内を記載したほか、市のホームページから必要書類のプリントアウトができるようにした。また、代理・点字投票も明記した。	—
9	秘書 広報課	52 心	市職員研修	同和問題(人権問題)職員研修を通じて、「心のバリアフリーの普及」を図る	継続して実施する。	32,400	継続して実施した。27年度は、講師を市の人権擁護委員に依頼。	8,500
10	秘書 広報課	52 心	人権啓発	人権啓発を通じて、「心のバリアフリーの普及」を図る	人権普及啓発の実施回数を増やし、継続実施する。	406,000	継続して実施した。	384,916
11	総合 窓口課	52 心	総合窓口の設置	総合窓口カウンターによるワンストップサービス及びフロアマネージャーによる窓口案内や手続きの支援	継続して実施する。	—	総合窓口カウンターによるワンストップサービス及びフロアマネージャーによる窓口案内や手続きの支援を実施した。	—
12	選挙管理 委員会	52 心	投票所のバリアフリー	高齢者や障害者が利用しやすい期日前・当日投票所の設営を行う。	各投票所では高齢者や障害者の方に配慮し、投票所の出入口の段差解消にスロープを設置、また車椅子を配備するとともに、投票管理者へは、車いすなどでお手伝いが必要な方は、職員がお手伝いいたします旨の案内をする。	—	各投票所では高齢者や障害者の方に配慮し、投票所の出入口の段差解消にスロープを設置、また車椅子を配備するとともに、投票管理者へは、車いすなどでお手伝いが必要な方は、職員がお手伝いいたします旨の案内をした。	—

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（心のバリアフリー）

NO	課	推進計画 ページ・ 区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額 (円)	実施状況	事業費 (円)
13	公民館	48 心	ボランティア活動の推進	にじのはらっぱボランティアの 拡大と活動への継続参加支援 体験！夏 ボランティアの受入 れ	にじのはらっぱの活動内容を充 実していくため、にじのはらっ ぱのPR活動を周知し、ボラン ティア募集を行った。 スタッフ9人、ボランティア6 人。	—	にじのはらっぱの活動内容を充 実していくため、にじのはらっ ぱのPR活動を周知し、ボラン ティア募集を行った。 スタッフ7人、ボランティア8 人。	—
14	公民館	48 心	障害者との交流の促進	障害者、健常者の別なく地域で ともに生きる市民として支えあ うため、学級・講座等を実施 し、相互理解を深める。	室内での事業や七夕民謡パレ ード、とん汁大会、合宿、三市交 流事業などを実施し、地域の中 での交流や相互理解を深める。 (19回)	720,000	室内での事業や七夕民謡パレ ード、合宿、三市交流事業など を実施し、地域の中での交流や相 互理解を深めた。(18回)	918,000

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（情報のバリアフリー）

NO	課	推進計画ページ・区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額(円)	実施状況	事業費(円)
15	全課	53 情報	筆談用紙の設置	会話が不自由な方が、支払等への問合せを容易に行うために、想定される質問をあらかじめ記載した筆談用紙を用意する。	窓口のある全ての課で実施する。	—	窓口のある全ての課で実施した。	—
16	議会事務局	53 情報	声の市議会だより作成委託	音声による市議会だよりの充実	継続して実施する。	86,000	継続して実施した。	74,865
17	秘書広報課	53 情報	わかりやすい情報提供	①音声による広報の充実(声の広報の作成、SPコードの挿入) ②広報その他、市の情報を提供するには、わかりやすい文章で内容を表現し、字体や大きさについても配慮する。	継続して実施する。	1,838,000	毎月1日号広報ふっさの奇数ページにSPコードによる記事を掲載した。(88記事) 声の広報を作成した。(対象者10人)	1,711,924
18	秘書広報課	53 情報	ホームページのバリアフリー	高齢者・障害者を含む多くの方が利用しやすいよう、画面の配色、音声付や自動多言語翻訳付のホームページを作成する。	継続して実施する。	—	音声読み上げソフト、自動翻訳システムにより、ホームページのバリアフリー化に努めた。	685,584
19	秘書広報課	54 情報	外国人のための生活便利帳(やさしい日本語版)	情報を得ることが困難な外国人の方にも理解しやすいような生活便利帳を作成し、情報のバリアフリー化を推進する。	ホームページの自動翻訳システムの活用により、情報のバリアフリー化を行っていく。	—	ホームページの自動翻訳システムを活用し、情報のバリアフリー化を行った。	—
20	安全安心まちづくり課	53 情報	防災行政無線のデジタル化	災害時における聴覚障害者への情報提供に配慮し、防災行政無線のデジタル化を推進し、文字表示による情報提供をできるようにする。	防災行政無線戸別受信機の聴覚障害者、土砂災害特別警戒区域居住者、難聴地域居住者への貸与を継続して実施する。	—	防災行政無線戸別受信機の聴覚障害者、土砂災害特別警戒区域居住者、難聴地域居住者への貸与を実施した。	—
21	安全安心まちづくり課	53 情報	TCNによる火災等告知放送	防災行政無線で市内広報した火災情報(住所等)と同じ内容をTCNのテレビ画面上にテロップで視覚による情報提供をする。	継続してテロップによる情報表示を実施する。	—	継続してテロップによる情報表示を実施した。	—

※事業費、予算額等に人件費、事務費は含まず。

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（情報のバリアフリー）

NO	課	推進計画ページ・区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額(円)	実施状況	事業費(円)
22	安全安心まちづくり課	54 情報	災害時要援護者対策	災害時に自力では避難できない高齢者、障害者等の把握に努め、地域ぐるみの協力体制が図れるよう推進する。	個人情報の更新、蓄積を行い、災害時に備える。	—	個人情報の更新、蓄積を行い、災害時に備えた。	—
23	収納課	44 情報	市税催告文の見直し	市税催告文を分かりやすい文章で内容を表現し、字体の大きさについても配慮する。	継続して実施する。	—	継続して実施した。	—
24	社会福祉課	54 情報	福祉サービスガイドブックの作成	市の情報等が的確、かつ適切に市民へ提供できるよう福祉サービスの総合的なガイドブックを作成し、情報提供手段の充実に努める。	作成予定なし	—	実施なし。	—
25	介護福祉課	43 情報	福祉用具、住宅改修事例等の展示	手すりの設置や段差の解消など簡易な整備について、福祉用具、住宅改修事例等の展示により情報提供し、バリアフリーの幅広い周知を図っていく。	継続して実施する。	—	福祉センターの常設展示コーナーにおいて展示し、情報提供を行った。	—
26	障害福祉課	53 情報	障害福祉サービスリーフレット等のSPコード化	障害福祉サービスリーフレット等にSPコードを挿入し、視覚障害者への情報サービスの充実を図る。	継続して実施する。	—	継続して実施した。	—
27	教育総務課	53 情報	教育広報「福生の教育」	開かれた教育行政の推進のため、「福生の教育」を年4回発行し、積極的な情報を市民に周知する。なお、今後は視覚障害者を対象に「福生の教育」の内容を収録し、声の教育広報としても実施できるよう検討する。	SPコードを付けて、年4回（4/15、7/15、10/15、1/4）教育広報を発行する。	印刷製本費 761,000 配布委託料 793,000	SPコードを付けて、年4回（4/15、7/15、10/15、1/4）教育広報を発行した。	印刷製本費 749,008 配布委託料 794,010

※事業費、予算額等に人件費、事務費は含まず。

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（情報のバリアフリー）

NO	課	推進計画 ページ・ 区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額 (円)	実施状況	事業費 (円)
28	図書館	53 情報	障害者用録音資料等購入	①障害者用録音資料購入 ：視覚障害の方に貸し出すために録音資料を購入。 ②DAISY図書再生機購入：視覚障害者のために、長時間収録できるCD図書を再生させる機器を購入。 ※DAISY (Digital Accessible Information System) とは、視覚障害者のために、カセットテープの替わりとして長時間収録できるCD図書を国際標準としてIFLA (国際図書館協会連合) から開発されたシステム。	障害者用録音資料購入予定点数 録音CD：15点 テイジー：25点	240,000	障害者用録音資料購入点数 録音CD：24点 テイジー：9点	239,326
29	子ども 家庭 支援課		外国籍保護者のための日本語通訳者配置	日本語能力が不十分な外国籍の相談者に対して、通訳者を配置し、母国語で相談できるように、子育てに関する相談業務の充実を図る。	日本語通訳者の活用により、相談の充実を図っていく。 事業計画：2,500円×30回	75,000	日本語通訳者の活用により、相談の充実を図った。 利用件数：5件 利用時間：5時間	12,500
30	図書館	53情報	対面音訳の開始	視覚障害・高齢等の理由で、墨字による読書が困難な利用者に対し、図書館所蔵資料の対面音訳サービスを行う。	対面音訳の開始	—	平成27年10月よりサービスを開始した。開始に際しバリアフリー映画の体験上映会を実施し、PR・周知に努めた。	—
31	障害 福祉課	54情報	福祉サービスガイドブックの作成	障害のある方の福祉サービスについて、サービスを受けるための手引きを作成し、情報提供手段の充実を目指す。	継続して実施する。	—	継続して実施した。	—
32	社会 福祉課	45 情報	地域福祉計画、バリアフリー推進計画の策定	地域福祉計画、バリアフリー推進計画の策定にあたり、視覚障害者への情報サービスの充実を図り、計画書にSPコードを挿入する。(5年毎に改定、次期改定は平成32年度)	—	—	計画書にSPコードを挿入し、策定した。	3,024,000

※事業費、予算額等に人件費、事務費は含まず。

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（施策のバリアフリー）

NO	課	推進計画ページ・区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額(円)	実施状況	事業費(円)
33	関係各課	54 施策	障害者への支援	身体障害者等社会参加促進を図るため、市施設の使用料の減免や入場料の免除を実施する。	継続して実施する。	—	身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳等所持者に対して、公共施設、市役所地下駐車場、市営駐車場、自転車駐車場等の使用料、下水道使用料の免除や指定収集袋（ごみ袋）の配布、粗大ごみの手数料の減免を実施した。（障害等程度を規定するものあり） （下水道使用料減免（27年度）で、162件 616,960円）	—
34	議会事務局	54 施策	一般質問の手話通訳	定例会中の一般質問の傍聴を希望する聴覚障害者に対し、本人と手話通訳者の調整をし、手話通訳を付ける。	継続して実施する。	12,000	継続して実施した。（利用者なし）	0
35	職員課	54 施策	障害者雇用	障害者の社会参加を促進するため、障害者雇用促進法（法定雇用率：地方公共団体2.3%）に基づき雇用する。	障害者の法定雇用率（地方公共団体は2.3%）を下回っているため、障害者を対象とした職員採用試験を実施する。	11,880	平成27.8.1時点で、法定雇用率（地方公共団体は2.3%）を満たしたが、平成28.3.31時点で職員の退職に伴い、再び法定雇用率を下回った。	5,000
36	安全安心まちづくり課	32 施策	駅前放置自転車の指導	高齢者や障害者の妨げとならないよう、駅前に放置されている自転車に警告札の札付け及び放置する者への指導、撤去を行い歩道等の確保を図る。	駅前に放置されている自転車に警告札の札付け及び放置する者への指導、撤去を行い歩道等の確保を継続して実施する。	—	駅前に放置されている自転車に警告札の札付け及び放置する者への指導、撤去を行い歩道等の確保を実施した。 撤去台数：732台	13,735,386
37	協働推進課	58 施策	輝き市民サポートセンターの開設運営。	輝き市民サポートセンターの事業を充実	継続して実施する。	7,222,000	市民活動を実践していく上での必要な知識、技能・能力の向上を図る講座等を実施した。 市民活動支援講座・4講座開催 参加者数：41名	6,818,053

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（施策のバリアフリー）

NO	課	推進計画ページ・区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額(円)	実施状況	事業費(円)
38	協働推進課	58 施策	市民活動災害補償保険制度	住みよい活気あるまちづくりに自発的に貢献する市民活動に対して、指導者や参加者が安心して市民活動ができるように市民活動中の事故を救済するための保険制度を実施する。	継続して実施する。	—	市民活動の指導者や参加者が安心して活動ができるように、市民活動中の事故等を救済するため、市民活動災害補償制度を実施した。 傷害補償：1件	—
39	シティセールス推進課	50 施策	「福生市商店街振興プラン」の推進	市民や来街者が安心して買い物ができるようバリアフリーの取組みを掲げた「福生市商店街振興プラン」の推進を進める。 (民間事業者への協力要請)	継続して実施する。	—	継続して実施した。	—
40	障害福祉課	54 施策	「障害者週間」の周知及び啓発イベントの開催	「障害者週間」の実施に合わせ、障害者が地域社会の中で、健康で自立した生活が送れることを促進する観点から、市民に障害についての理解と認識を深めてもらうイベントを開催する。	継続して実施する。	—	①「障害者週間」に合わせ各種事業を実施した。絵画等の作品展示、高次脳機能障害講演会(22名参加)・懇談会(10名参加) ②障害者支援施設による店内販売の実施	36,000
41	介護福祉課	58 施策	福生市福祉交通網(市内福祉施設等送迎バス運行)の整備	高齢者・身体障害者等の社会参加促進を図るため、交通弱者を対象に、その利用する公共施設へのアクセス手段として、市内公共施設へ送迎するバスを運行する。	福祉バスを継続して運行する。	23,092,000	福祉バスを継続して運行した。	23,091,120
42	教育指導課	45 施策	いじめ防止教育の推進	いじめ防止のため関係機関、地域関係者との連携を図るとともに、相談体制の充実、研修・研究の充実を図る。	継続して実施する。	—	継続して実施した。	—
43	教育指導課	45 施策	特別支援学級指導補助員の配置	特別支援教育の充実のため、特別支援学級(固定学級・通級指導学級)や、通級している児童・生徒への支援を行う指導補助員を配置する。	継続して実施する。	6,885,000	継続して実施した。	6,489,510

※事業費、予算額等に人件費、事務費は含まず。

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（施策のバリアフリー）

NO	課	推進計画 ページ・ 区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額 (円)	実施状況	事業費 (円)
44	スポーツ 推進課	47 施策	高齢者・障害者等を対象とした 事業の拡充	【中央体育館】 若草健康体 操、シニアピクス、ヒーリング ストレッチ、ウォーキング講習 会、みんなの運動会、高齢者ス ポーツ大会 【福生地域体育館】 シルバー 元気、シニアエクササイズ、さわ やか軽スポーツ 【熊川体育館】 中高年者軽ス ポーツ教室、ほのほの体操教 室、かんたんエアロ、ほのほの エクササイズ	継続して実施する。	—	【中央体育館】若草健康体操等 6教室実施・全197回・延参加 者数 2,240人／高齢者スポー ツ大会実施・参加者数528人 【福生地域体育館】ラク楽体操 等5教室実施・全218回・参加 者数5,694人 【熊川地域体育館】ほのほの体 操等3教室実施・全137回・延 参加者数1,765人	—
45	スポーツ 推進課	47 施策	エンジョイ・スティックゴル フ・デー	交流を図るため、対象を一般・ 障害者とし、バリアフリー事業 として行っている。障害者の使 用料は免除	継続して実施する。	—	障害者スティックゴルフ大会実 施 全1回・参加者数27人	—
46	公民館	47 施策	高齢者・障害者等を対象とした 事業の充実	義務教育終了後（養護学校高等 部在学者を除く）の知的障害者 を対象に、仲間作りと学習の場 として青年学級等を実施する。 また、高齢者の生きがいづく り、仲間づくり等を目指し、高 齢者対象の各種事業を実施す る。	青年学級 1コース・20回 高齢者 5コース・42回	青年学級 850,000 高齢者 600,000	青年学級 1コース・18回 高齢者 6コース・49回	青年学級 918,000 高齢者 629,000
47	公民館	53 施策	手話通訳者の配置	事業等の実施にあたって、だれ もが参加しやすいよう聴覚障害 者への配慮に努め、手話通訳者 を配置する。	公民館のつどい、男女共同 フォーラムなどのイベントに手 話通訳者を配置する。	つどい 20,000 フォーラム 20,000	公民館のつどい、男女共同参画 フォーラムなどのイベントに手 話通訳者を配置した。	つどい 20,000 フォーラム 20,000
48	図書館	54 施策	図書館資料宅配貸出事業	「福生市立図書館資料宅配貸出 事業実施要綱」に基づき、身体 の障害等により福生市立図書館 に来館することが困難な者に対 し、図書館資料を自宅に配達し 貸し出す事業を実施する。 また、宅配事業に準じて図書館 資料（点字図書館、市外図書館 借用資料含む）の郵送サービス も実施する。	前年度比5%増 110件 図書：482冊 視聴覚資料：201点	—	83件（月6.9件） 図書：93冊 視聴覚資料：125点	—

※事業費、予算額等に人件費、事務費は含まず。

福生市バリアフリー推進計画進捗状況調査一覧（施策のバリアフリー）

NO	課	推進計画ページ・区分	事業名	事業内容	平成27年度計画		平成27年度実績	
					実施予定	計画額(円)	実施状況	事業費(円)
49	スポーツ推進課	47 施策	ブラインドサッカー等を通じたノーマライゼーション社会の実現	障害のある人へのスポーツの参加促進と障害のある人と無い人が一緒に行うスポーツを推進する。 ブラインドサッカー大会への支援	継続して実施する。	—	積極的に大会誘致を行ったが、平成27年度は未開催地優先との方針のため断念。 西多摩地域のスポーツ推進委員に対してブラインドサッカーを通じた研修を行い、次年度以降の大会受入の体制構築に努めた。 参加者：99名	—
50	教育支援課	45 施策	学校と家庭の連携推進事業	いじめ、不登校、暴力行為など生活指導上の課題に対応するため、小・中学校全校に「家庭と子どもの支援員」及び「スーパーバイザー」を配置し、課題に対して地域全体で取り組む教育体制及び地域や学校の実態に即した効果的な取組を図る。	継続して実施する。	3,990,000	家庭と子どもの支援員及びスーパーバイザー計22名を市立小・中学校全校に配置し、不登校や生活指導上の課題に対応した。 (家庭と子どもの支援員) 人員：16名 活動時間：2,806時間30分 (スーパーバイザー) 人員：6名 活動時間：38時間	3,053,500